



△子どもたちと一緒にサツマイモ掘りをする中嶋市長



△今回訪問した小原小学校の皆さん



## 子どもは地域の宝物

—小原小学校の児童たちと一緒にイモ掘りを体験—

小原小学校では、同校学校後援会の相楽会長ら役員の方々とお話をさせていただきました。

後援会の方からは、子どもは地域の宝物、学校と保護者、それに地域が連携して守り育てるという取り組みや一年を通じた活動についてのお話を聞かせていただき心を強くしました。

中でも、淡路島での障がいのあるサルの誕生をきっかけにして、学校農園で無農薬のサツマイモを栽培し、その年の修学旅行でモンキーセンターへ届ける取り組みを約20年間続けている話には感銘しました。今後のさらなる取り組みとこの活動

から芽生える優しい心の育みと命の大切さを学ぶ機会を大切にしたいと願っています。

この日はちょうどモンキーセンターに届けるサツマイモの収穫作業があり、早速軍手を手に中嶋市長も子どもたちが収穫する畑に行き子どもたちを激励、一緒に収穫作業に参加しました。

「市長さんこっちに来て、こっちにも一杯出来てるから来て」と大人気。笑顔溢れる畑で中嶋市長も子どもたちと収穫の秋を体験しました。

健やかな子どもは地域の願いであり、市の願いでもあります。市の将来を担う子どもたちの元気と笑顔が溢れるまちづくりに今後ご協力をお願いし、小原小学校を後にしました。

# 市長



まちづくりは  
皆さんとの対話から

# ぐるっとトーク

in 信楽

第7回

今年度第2回となる市長ぐるっとトークは10月13日(金)、秋の色濃くなる信楽を訪ねました。

当日は、営農組合の皆さんが取り込まれるブロッコリーやそば、黒豆の栽培、また小学校の子どもたちが淡路島のモンキーセンターにプレゼントするため、サツマイモを栽培する学校現場などを中嶋市長が訪問しました。澄み切った青空に恵まれて実りの秋を満喫できる一日になりました。



## 地域特産物のブランド化へ

—黄瀬営農組合—

当日は、組合員の皆さんと住民交流館さららで皆さんの取り組み事業について話を聞かせていただきました。

中嶋市長も皆さんの地域農業への熱い思いに感心しました。また丹精込めて栽培されたお米のブランド化や最近始められ商品化されたブロッコリーの品質向上対策、地域特有の気象環境から栽培が進むソバ、黒豆の栽培など地域の特産物づくりの話を中心に黄瀬地域のまちづくりの構想に大きな期待を寄せています。今後、栽培される特産物がさらに地域の人々に愛され、また皆さんの構想が実現するよう市もサポートさせていただきます。



△地域の特産物づくりへの取り組みについてお話を聞きました。(下:ソバ畑 中:大豆 左:ブロッコリー)



△黄瀬営農組合の方々とまちづくりの構想について懇談

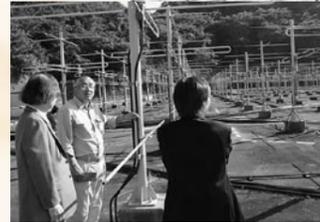
## アジア域最大の レーダー施設を視察

—信楽MU観測所—

三重県境近くにある京都大学研究施設「京都大学生存圏研究所MU観測所」を視察しました。

同施設は、中層大気と超高層大気を観測するために作られた大型大気観測レーダーで、アジア域では最大となる大きさです。

甲子園の広さがあるレーダー施設現場も視察し、オゾン層の解明や最近話題となる流星群の観測、気象観測など同レーダーが果たす役割を同大学教授の深尾氏から説明を受けました。



△アジアでは最大となる大気観測レーダーがあるMU観測所内

## 下水道終末処理場工事の 進捗状況を確認

市内が進む公共事業の現場視察は、今後の施策を考える上で大切なことです。図面を見るだけでなく、工事が進む現場で担当者から直接説明を受けることは中嶋市長の現場主義という姿勢の一面でもあります。

△信楽町で建設が進む週末処理場予定地を視察

